

金花草陰之卷
全

和装本

ケ 5

44

26





大坪本流金花草陰之卷

春生軒叅藤定易撰

脈中金瘡生死吉凶脈之事

脈沉小虛細者生吉也

脈浮大實數者死凶也

大疵脈沉細十レハ惡レキ也

小疵脈浮大十レハ惡レキ也

打疵脈浮大十レハ生吉也

折疵脉沉細ナルハ死ス凶也

小疵脉煩ハ惡シキ也

大疵脉煩サルモ惡シキ也

生 死 吉 凶 相 之 事

眼中赤色ナル者ハ生吉也

眼中黄色ナル者ハ死凶也

眼中青色ナル者ハ生吉也

眼中白色ナル者ハ速死ス凶也

額ニ汗ヲ流シ眼ニ泪ヲ浮メ五躰直ニ唇

ウルニ惡寒アツテ惣身震フハ死凶相也

疵 輕 重 之 事

外疵ト云ハ肩背中腰尻肢向臑手甲足甲

ヲ云也疵輕キ者也

内疵ト云ハ胸腹内腕手裏足裏ヲ云也疵

重キ者也

一分八箇取トテ重キ疵アリ耳下動スル

取左右同断股下左右脱咽水落縫目脉道
右者小疵トイ工氏大事也

疵虚實寒熱之事

虚ハ吐逆泄瀉スル也補ヘシ

寒ハ或癰^癰シ或強ル也温ムヘシ

實ハ兩使結スル也瀉スヘシ

熱ハ血留リ難シ又ハ疵

血縛之事

人參

香白芷

騏驎血

黃柏

紫何車

婁松若緑

夜合若緑

人豚尾

産子ノ糞ニ
テモ用ナリ

耳^耳草

各等分細抹シテ用ル也

加減

骨ヲ折クル疵ハ虎骨ヲ加ル也

筋ノ疵ニハ虎肉ヲ加ル也

深疵ニハ虎膽ヲ加ル也

同血縛業法

蓮肉散

蓮肉

芦毛馬屎屎

二種焙焙焙リ黄

色ニシテ能々細抹シテ茶一服ホト湯ニ

テ嚙フヘシ

同血縛茶法

麝香散

紫太烏ヲ取テ

其上用烏カ寒烏カ何レニテモ用也

紫角

瓜ヲ去テ麝香ノ臍ノ皮ヲ西羽ノ下ニ入

テ霜ニシテ三ヒホト湯ニテ嚙フヘシ

藤瘤

黄柏

榆柳

秋葉

青木葉

車前子

右等分ニ細抹シテ煎シ其汁ニ

テ疵ヲ洗其後ニ付ハ則イユ

右酒ヲ漏シカヘシテ疵口ヲ洗タルモ吉

血留茶法

騏驎血

竜骨

婁松緑

右等分ニ細抹シテ血出口ヘ燃リ掛ル也

同血留茶法

天花粉ヲ芦毛馬ノ骨脉ノ血ニ滲シテ于
カタメ粉ニシテ血口ニ燃リ掛ル也

同血留菜法

蒲黄紫太鳥 黑燒 等分ニ抹シテ挽茶半

服ホト湯ニテ用ヘシ

疵口付菜

天花粉 葛粉 黄柏 石灰百日用ルナリ 酒シテ

右等分ニ抹而胡麻油ニテ煉テ付ル也

同疵口付藥

羚羊角反 廉苒反 沉香反 乙金反 耳草反

右抹卜而胡麻油ニテ煉テ付ル也

同疵口付藥 平氏黄藥

耳草大 黄柏八 右兩種抹卜シテ胡麻油ニ

テ付ル也

同疵口付菜

鹿角黑燒 赤辛螺黑燒 烏貝黑燒 白芍菜 右等

分 = 抹トシテ胡广油 = テ煉テ付也久敷
疵 = ハ繁汁 = テ付ヘシ

同疵口付菜

生蘓散

揚梅皮

揚梅子

霜

天南星

芭蕉卷葉

霜

右等分

而胡广油

= テ付

同

鹿角

霜

葛粉

光明丹

和丹 = テモ
不苦ナリ

右等分 = 細抹シテ胡广油 = テ煉付ル也

同

天南星

二分

辰砂

二分

麝香

半朱

右抹トシテ繁ノ汁 = テ付ル也疵口膿節
用テ吉

膏ヨリ肉上ル = ハ耳草ヲ粉 = シテ乳汁

= テ付ヘシ

疵ノ上痛 = ハ

女髮霜

龍腦

右胡广油ニテ煉テ付ル也

复疵ニハ葛粉ヲ何レノ付薬ニモ用ル也

疵口ヨリ赤汁多ク出ハ騃驕血ヲ付薬ニ

加ヘ用ル也

古疵ニハ石灰ヲ何菜ニモ用ル也

愈肉ニテハアラスレテ惡肉上リ黄汁出

カ子ハ天南星ト朱ヲ等分ニ抹キシテ瓜

實ホトニ丸シテ疵口ヘ入ヘシ

疵口強キニハ疵口ニ胡广油ヲ塗リ青竹

ノ筒ヲ疵口ヘ當テ松ノ煙ニテ薰ヘテ青

木葉ヲ付テ其上ヨリ灸ヌヘシ

同疵口強ルニハ楊梅皮ヲ粉ニシテ付薬

ニ加ヘテ吉

疵愈テ後口浮腫テ惡キニハ針ヲサシテ

血ヲ出シ針目ニ地黄ヲ燃リ掛ヘシ粘ニ

テ煉テ付ヘシ疵強ク腫テ押度トキハ梅

酢ニテ粘ヲ延テ付テ其上ニ枚原紙ヲ蓋
ニスヘシ亦白神散ヲ少加ヘテ付テ吉也

同復日引藥

葛ノ莖ノ皮ヲ四月上旬ニ取テ上皮ヲ去
リ耳皮ヲ荒ク刻ニ赤銅鍋ニテ煎シ絹ニ
テ越シ椀ノ粉ヲ加ヘテ煉誥テ其後丸
スヘシ用ル時ハ鐘テ水粘ニテ延鳥ノ羽
ニテ引也水ハカリニテ延ル引テモ可也

此藥ハ復疵ヲ膿セス虫ノ生スルナシ

同引藥

牛膝ノ根ヲ能出氣ヲ洗去テ酢丸ニシ離ニテ引ヘ
シ復日ノ引藥也

内藥之一

當歸湯

愈傷散凡云河内国
十五味薬トモ云ナリ

- 人參
- 黄芩
- 白花苓
- 白朮
- 桔梗
- 白芷
- 川芎
- 白芍薬
- 當歸
- 地黄生熟二種
- 乙金
- 大黄一兩

沉香ニ分 木香 茸草 右細林シテ煎シ

用ルニ一切ノ疵ノ治スル妙法ナリ

加減

気弱ノ馬ニハ人參ヲ加ヘテ吉

表虚ニシテ行ヲ流シ気弱キ馬或疵癰癰

ハ黄芩ヲ多ク加ヘテ吉

気ツマリ尿甚濁リ或通セサルニハ白茯苓

苓ヲ増シテ用ヘシ

胃氣ヲ神ニハ白朮ヲ増スヘシ

胸ヨリ上ノ疵癰ニナリテ膿止ラサルニ

ハ桔梗ヲ多ク用但シ気痞タル人馬ニハ

用サル也

香白芷始メハ少用ヘシ癰ニ成膿止リカ

子ハ多ク用ヘシ

川弓双痛シテ気痞タル人馬ニハ多ク用

ヘシ或気弱ノ人馬ニハ少用也

當歸始メハ少シ用後ニハ多ク用ヘシ勿
論血虛ノ人馬ニ多ク用テ可也熱アル人
馬ニハ減スル也

白芍薬血熱ニハ多用ヘシ虚寒ノ人馬ニ
ハ少シ用ヘシ

地黄血熱ニハ生地黄ヲ用血虚ニハ熟地
黄ヲ用ヘシ

乙金血熱在テ痲痛ニハ多用

大黃黃結シタルニハ多用ヘシ口傳何也
沉香氣重ト時多用ヘシ
木香虫氣腹痛或胸膈痞タル人馬ニ多ク
用ヘシ
項双膊底痛ニハ獨活ヲ加ヘシ四肢痲痛
ニハ羌活ヲ加ヘ熱アルニハ葛根ヲ加ヘ
乙金ヲ益スヘシ
眩暈シ氣朦々タルニハ人參茯苓沉香ヲ

益シ煎湯之間ニ氣付ヲ用ヘシ
結馬ニ使實ニハ大黃ヲ益シ桃花ヲ加ヘ
虛弱ニハ茯苓ヲ益シテ水通ヲ加ヘ熱ア
ツテ通サルニハ葛根黃芩ヲ加ヘシ
潮熱アル時ハ前胡柴胡ヲ加ヘ熱至テ強
ノハ黃芩ヲ加ヘ咽乾ハ石膏ヲ加ヘシ
同咽乾ク時茯苓ヲ増シテ葛根ヲ加ヘシ
熱甚シク咽至テ乾ハ石膏ヲ加ヘテ可也

狂乱ニハ茯苓ヲ加ヘシ血熱甚シクシテ
狂ハ生地黃ヲ増シテ黃芩ヲ加ヘシ
痲癰ニ成ニハ白芍薬生地黃ヲ増ス熱強
ニハ黃芩ヲ加ヘ膿血止リカ子ハ香白芷
桔梗ヲ増ス数日濃血流シテ虛シクルニ
ハ黃芩ヲ増スヘシ
及ニハ杜仲ヲ加ヘ或干姜ヲ加ルトモ吉
血ハシル時ハ芍薬ヲ増シ紫朮蒲黃ヲ加

一シ

口竈 = ハ花神遠志ヲ加ヘシ

洞竈 = ハ大黃乙金ヲ増シテ琥珀ヲ加ヘ

シ

骨ヲ步研タル疾 = ハ續断骨碎補獨活羌

活ヲ加ヘシ

不食 = ハ縮破藿香ヲ加ヘ熱強キ不食 =

ハ加味 = 心得アルヘ

浮 = ハ大黃生地黃乙金ヲ去テ芍薬白

朮ヲ加ヘシ

吐逆スル = ハ藿香ヲ加ヘ胸 = 熱氣アツ

テ吐セハ黄芩ヲ加ヘ虫氣アツテ吐アラ

ハ換椰子ヲ加ヘシ

双痛 = ハ川芎白芷ヲ増ス風邪 = 抱サレ

双痛スル時ハ羌活少薄荊ヲ加ヘシ

咳嗽頼 = ハ桔梗ヲ益シ風邪ナラハ薄荊紫

荊 苦ルシ

蘇ヲ加ヘシ冷シテ咳嗽スルニハ陳皮ヲ
加ヘシ

腹痛ニハ芍薬木香ヲ増シ虫ニテ痛ニハ
大黄ヲ除テ丁子棋郎子ヲ加ヘ惡血腹中
ニ在テ痛ニハ大黄乙金ヲ増ス冷シテ痛
ニハ大黄ヲ除テ肉桂ヲ少加ヘシ
心悸ニハ茯苓ヲ増シテ麥門冬ヲ加ヘ濃
氣アルニハ沉香ヲ増シテ黄芩ヲ加ヘシ

大白散 諸金瘡血乱ヲ治

人參 茯苓 香白芷 沉香 當歸 芍薬

地黄 川芎 紫祖 枳壳 沢泻 蒲黄

肝朴 莖葉共ニ
日ニ于テ用 大黄 半生
半炒 耳草 右細抹シ

テ煎湯嚙ヘシ兩目ニ條々口傳

加減之法

熱強ハ沉香ヲ増テ黄芩ヲ加ヘシ

心悸ニハ麥門冬ヲ加ヘシ

虫氣ニハ木香ヲ加ヘシ
疝久敷ニハ木香ヲ加ヘシ
大使結ニハ大黃ヲ増スヘシ
尿結ニハ木通ヲ加ヘシ猶モ通シカ子
ハ茯苓沢泻ヲ増スヘシ
吐逆ニハ藿香ヲ加ヘシ上熱シテ吐逆セ
ハ白梅花ヲ加ヘテ吉
胸膈苦シキニハ枳壳ヲ増スヘシ

鉄炮疵ニハ黄芩ヲ多ク加ヘテ可也
白朝散 諸金瘡ヲ治
人參 木香 當歸 芍薬 地黄 川芎
茯苓 大黃 紫朮 縮砂 陳皮 沉香
加減四季
春ハ當歸ヲ増ス 夏ハ芍薬ヲ増ス
秋ハ地黄ヲ増ス 冬ハ川芎ヲ増ス
加減

熱氣ニハ柴胡ヲ加ヘシ猶以テ熱強クハ
石膏ヲ加ヘシ

血走ラハ紫祖ヲ増スヘシ

腫氣ニハ大黃芍薬ヲ増スヘシ

膿氣ニハ沉香ヲ増シ黄芩ヲ加ヘシ

筋引張ニハ黄芩ヲ加ヘシ

右白朝散ハ大秘法也諸金瘡ヲ能治シ

テ能血ヲ留ル此薬ヲ用ル時ハ口薬付

下ストモ苦シカラス青木葉計付テ置

調気湯 浮茶ヲ以テ治スル時此法ヲ用

當歸 沉香 大黃 桃花 川芎

右等分各二分宛煎湯シテ用ヘシ

生地黄散 赤損スル症ニ用成黄什ノ出力

生地黄霜 鶴虱草 莖葉實共ニ

右二味霜ニシテ等分ニ合薬シ酒ニテ

用へし下戸ノ馬ニハ湯ニテ用也

擗葛湯 擗皮霜葛水ニテ解し薄茶一眼

ホト酒ニテ用へし是ハ内ヲ能調へテ

必疵口へ黒ク吹出し口付菜ト成也

流気飲 疵平愈以後
不食ニ用テ告

厚朴 青皮 紫蘓 陳皮 肉桂 香附子

莪朮 藿香 大腹皮 枳郎子 木香 草菓

丁香皮 各五文 白茯苓 木瓜 白朮 人參

枳壳 沉香 各一匁 木通 麦門冬 各六匁

三稜 白芷 川芎 各三匁 半隻 三匁 耳草 五匁

右細抹し煎湯用へし

神浸湯

人參 川芎 麻葉 各一匁 耳草 一匁

右細抹し煎湯用又散葉ニシテ湯ニ

テモ用へし

神効散

嗣へ血落嗣竈ノ時用テ一度下テ
尿ニ十トルナリ

大黄 當歸 乙金 黄芩 皂角子 各一匁
沉香 二分 巴豆 三粒

右細搗シテ酒ニテ用ヘシ
黑神丸 桐箆 早下秘法

巴豆 一粒皮ト 飯粒 十粒 百草霜 少加

右三味 押合十二粒ニ丸 光明丹ヲ衣ニシテ可也

芍薬散 桐箆血ヲ治

芦毛馬ノ糞ヲ芍薬ノ洗湯ニテ用也

牛黄散 心臓ヲト重ク見ハ少下シテ用可ナリ

桑白皮 一匁 白朮 三分 陳皮 二分 木香 三朱 木通 一分

黄芩 一分 胡椒 二朱 右調合シテ牽牛子

一匁ノ内ヨリ搗テ二分ニ牽牛子ニ朱等ヲシテ本味ニ朱ト 生姜

汁ニテ制シテ丸シ湯ニテ用也

參黄湯 牛 員馬 兩結 血下

人參 二兩半 大黄 一兩 黄芩 一匁二分 胡椒 五粒

芭^芒硝 反二分 巴豆 皮ヲ去 荊苳 反 紅花 六分

右細抹シテ〇丸シ一度ニ三十粒ヲ挽

茶湯ニテ用ヘシ尿結ニハ草薺木通ヲ

煎シ其汁ニテ用ヘシ

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 煎シ其汁ニテ用ヘシ and 草薺木通ヲ.

當流宗師

日本武尊

迎來流

貞純親王

鹿嶋流

八幡太郎

義家

六條判官

為義

大坪流

湯山入道中原玄性

大坪式部太輔廣秀

村上加賀守 永幸

齊藤備前守 國忠

齊藤安藝守 好玄

齊藤備後守 忠玄

齊藤齊宮 辰遠

丹州住僧了慶坊

齊藤求馬助 辰光

齊藤主稅 定易

久保田宗順 弘道

大坪本流

山來流

當山流

日本流

